

平成25年度第1回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成25年6月5日（水）13時30分～15時50分
- 2 場 所 さぬき市役所3階302会議室
- 3 出席者 【委員】井上委員 岩田委員 柿木委員 亀井委員 小山委員 高橋委員
筒井委員 長安委員 南田委員 宮本委員
【事務局】総務部政策課 課長外2名
【傍聴】0名
- 4 会議次第 1 開会
2 会長あいさつ
3 議題
(1) 平成25年度事業スケジュールについて
(2) 男女共同参画プラン後期計画進捗状況調査について
(3) 第2次男女共同参画プランについて
(4) 今後の会議スケジュールについて
(5) その他
- 5 配布資料 資料1 平成25年度スケジュール（案）
資料2 プラン後期計画進捗状況調査結果（H24年度）
資料3 第2次プラン委員意見（要旨）
資料4 第2次プランについて（国等の動向）
資料5 さぬき市の現状と課題
資料6 現行プラン体系表
資料7 中学生ワークショップについて

6 会議内容

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞（ 13：30 ）
事務局	<p>只今より第1回男女共同参画推進協議会を開会する。当協議会は原則公開の会議であり、現在傍聴者はいないが、傍聴希望者が来た場合には、定員に達するまで随時入っていただくのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>また、今年度は第2次男女共同参画プランの策定という非常に重要な取組を行っていく予定であり、委員の皆様にも改めてよろしくお願ひしたい。</p> <p>では、開会にあたり会長からご挨拶をいただき、引続き議事に移っていただきたい。</p>
会長	<p>最近のニュースだが、日本の政治家の従軍慰安婦問題の発言が世界から注目を浴びた。日本の人権意識は世界に諮られていると実感した。私たちが今年度取組むプランも世界に通じていくものだ。さぬき市のプランは素晴らしいものだと感じているが、第2次プランの策定にあたり、委員の皆さんの意見を反映し、憲法にきっちり則した形でのプランに仕上げていきたい。どうぞ協力をお願ひしたい。</p> <p>では、議題1「平成25年度スケジュールについて」、事務局に報告をお願ひする。</p>
事務局	●資料1を使って説明

会長	<p>かなり先までの計画なので、多少のズレは生じると思うが、おおむねこのスケジュールでよろしいか。</p> <p><異議なし></p>
会長	<p>では、議題2「男女共同参画プラン後期計画進捗状況調査について」、事務局に説明をお願いします。</p>
事務局	<p>●資料2を使って説明</p>
委員	<p>4ページについて質問だが、3名の女性管理職がそれぞれ何課の管理職として登用されたか教えてほしい。また25年度の配置についても教えてほしい。</p>
事務局	<p>平成24年度の具体的配置は、健康福祉部国保・健康課、会計課、議会事務局議事課である。平成25年度はさらに2人増え、配置は市民部市民課、監査委員事務局となっている。</p>
委員	<p>その他分野への女性管理職の登用の見通しはあるのか。</p>
事務局	<p>性別の観点もひとつあろうかと思うが、配置については個々の適正・資質に基づき行っており、当然適任の者がいればその分野への配置が妨げられるものではない。</p>
委員	<p>了解した。次に11ページに関連してだが、以前から要望している男女共同参画推進室の設置についての見通しはいかがか。</p>
事務局	<p>昨年度、男女共同参画推進室の設置について内部でも検討を行ったが、実現には至らなかった。その理由として、市の職員数が相当に減ってきている中で組織をどのように再編するのか、男女共同参画とどのような分野との組み合わせが可能かといった面で意見の集約ができなかった側面がある。ただ、市としてはこのことについて進めていきたいという思いはある。</p>
委員	<p>進行状況の管理の仕方について。報告書のまとめ方について少しわかりにくい気がする。1点目は、15、16ページに掲載の数値目標がピンポイントで、それだけの指標では全体的にプランがどれだけ達成されたかがわかりにくい。2点目は、数値目標以外の部分で前年度の実績と次年度の目標を記載するようになっているが、前年度の予定（目標）と実績が1度に確認できないと、目標に対する達成率のようなものがわかりにくいのでは。管理の仕方について改善は可能か。</p>
事務局	<p>まず、15、16ページについて。このページはプランの中であらかじめ設定している数値目標に対しての達成状況を示しているものであり、現行プランの数値目標の設定が荒掴みで数値目標をよりきめ細かく設定する必要があるれば、第2次プラン策定において改善する必要がある。</p> <p>また、2点目の、同一年度内での予定（目標）と実績の関係が不明確という点について、報告書は毎年度の作成となっており、各課において、プラン目標に向けて各年度ごとに何ができたか次年度はどうするかを報告する形となっている。現在の調査の形として、例えば資料2（平成24年度版）ならば平成24年度の成果を書き、平成25年度の目標を書くようになっている。平成25年度は、平成24年度版でどのよ</p>

	うな目標を立てたかを振り返りながら、実績を書くようになる。より具体的な内容を記載した冊子を年度ごとに作成している関係で、前年度との比較はしにくい状況にあるかもしれないが、毎年度の結果を市のホームページにも掲載しているので、過去の流れについてもぜひご覧いただきたい。
会長	数値目標と現実が乖離しているところがある。第2次プラン策定において、目標設定の仕方についても再度考えていかななくてはならない。
委員	6ページのところで、市民病院では、病児・病後児両方の保育をしているのか。
事務局	そうである。
委員	プランの具体的取組には病後児保育の充実としているが、すでに病児保育も行っているのであれば、記入の仕方としてそのように記載した方が適切ではないか。
事務局	了解した。
会長	では他に意見がないようなので、続いて議題3「第2次男女共同参画プランについて」、事務局に報告をお願いする。
事務局	説明の前に、前回協議の方針と今後の方針の相違点についてご説明したい。前回協議会では、第2次プランについて、軸をぶらさずに、基本理念～施策の柱の部分は文言等の必要な範囲内での修正にとどめ、内容まで踏み込んだ修正は、具体的取組などの枝葉の部分で行う方向で検討した。しかし、協議後、委員意見や前回プラン見直し以降の国等の動向、社会情勢の変化等新しい情報を得て、より今の実情に適した生きたプランにするためには、例えば、具体的取組部分に明記していたものを、新たに柱として特出するなど、もう少し大きな視点でプランを考えていくことが必要と感じた。そこで、今回の協議では、委員の皆さんに、委員意見、国や県等の動向、さらにさぬき市の課題を改めて見てもらい、体系部分についても変更していくことの是非や、素案に盛り込むべき課題などについての意見を頂戴したい。 ●資料3～6を使って説明
会長	大切なのは、国の動向と市の実情のすり合わせではないか。事務局からの意見として、5年後を見据えた形で現行プランを大きく見直した方がいいのではないかと、という提案だったのだが、委員の皆さんからの意見をいただいた上でこの提案に対する賛否を問いたい。
委員	事務局説明の中で、防災について地方でも盛り込むようにといった要請が国から来ているという話があったが、このことはぜひ盛り込むべきだと思う。さぬき市でも防災会議が開かれているが、私が傍聴させていただいた限り、女性の視点からの意見が十分ではなかったように見受けられた。このことから、女性の視点がしっかりと活かされる防災組織づくりの必要性を感じている。
会長	男性にとっての男女共同参画ということについてはどうか。
委員	最近、マタニティハラスメント、略してマタハラという言葉がある。女性の出産に対しての職場でのマタハラの現状はひどいものがある。こういう部分においても、男性の意識改革というのは非常に大事であると思う。

委員	<p>私はこの協議会に参加してから今まで特に意識していなかったことに気付く様になった。そのことについて。最近、職場で育休を取る女性が非常に増えてきた。前は結婚となったら女性は寿退社が当たり前だったが、最近は出産後も辞めない女性は多いと思う。女性の活躍が書かれた新聞記事を持ってきたので皆さんにもご覧いただきたい。</p>
委員	<p>つい最近小学校の運動会に行ってきた。保護者とのダンスのとき、父親が出てくるのが結構多くなっており、変わってきたなあと思う。一方で、PTAの会則には、専門部の委員については、「男性を除く」等といった記載が見受けられる。なぜかという、日ごろ行われる専門部の委員会には、男性は仕事が忙しく来れないだろうということで、このような記載になっているらしい。意識というよりもむしろ男女共同参画を阻害する色々な場での制度が残っているといえるのでは。最近の若い世代の男性は意識的にかなり進んでいると思うが、制度が追い付いていないので、そういうところひとつひとつの見直しも進めていく必要がある。</p>
会長	<p>前例、しきたりを見直していくということも大切だ。他に意見は。</p>
委員	<p>女性が育休を取ることに對して、50歳代の上司が、「なんとかしなくてはな」、という発言をした。一昔前なら、「これだから女は」という発言になったと思うが、時代は変わったと思う。</p>
会長	<p>これからは、男性も進んで育休を取る時代になっていくかもしれない。</p>
委員	<p>現段階では、私の会社でも男性の育休制度はあるが、取得者はいない。先日大学時代の友人が育休を取得したと言っていた。</p>
会長	<p>私がびっくりしたのは、さぬき市の働く女性は多いんだということ。晩婚化しているということは、復職しようとしたときに親の介護の必要性が生じ、仕事を辞めなければならないという選択を迫られるということもあるということだ。そのときに復職支援として、例えばさぬき市の学童保育はどうなっているんだろうと思う。実際に役に立つプランを作っていく必要があると思う。</p>
委員	<p>最近、女性の多いボランティア団体に男性が参入したであるとか、逆の場合もあるが、男女間での考え方が非常に違うというところを感じる。例えば、既存の力仕事の多い男性ばかりのボランティア団体だとしたら、女性はお茶を持ってきて等、門戸は開いたが、女性がなかなか馴染み辛かったりする。また、子育てボランティア団体については、需要に供給が追い付いていない状況だ。若い世代の方が皆働きに出ている、残された子どもたちはどうなるのという心配もある。非常にいい活動をしているがメンバー不足に陥る団体も多く、組織について再度考えねばならない時期に来ていると感じる。</p>
会長	<p>やはり、どんな団体でもそのような課題はあると思う。性別の垣根を越えて一緒に活動していこうというときには、お互いに相手への配慮が大切になってくる。他には。</p>
委員	<p>現在、協議会の事務局担当として、女性が説明を行っているが、一昔前なら説明をするのは男性であった。このように、女性が表に出る場面があるということは、男女共同参画が進んできているのだと感じる。先程の進捗状況で、平成24年度現在、女</p>

委員	<p>性の管理職が3名とのことであったが、これからもっと女性が活躍する時代が来るのではと期待している。自分自身の子どもを見ても、家族で協力している。やはりそういう時代に入ってきているのは、こういったプランが少しずつ浸透してきているからではないだろうか。また、先程学童保育の話が出たが、子どもを支えていくことも男女共同参画の推進には非常に大切だと思う。</p> <p>今どきの若い父親は、本当に家庭のことを一生懸命やっていると思う。母親よりもよくやる父親も私の周辺には多い。</p> <p>話は変わるが、女性の活躍について、学校でも、以前は男性教諭が多かったが、現在の採用では逆転し、男性2割、女性8割程度ではなかろうか。また、以前は男性教諭の役割、女性教諭の役割があった。例えば、生徒指導は男性という時期があったと思うが、現在では性別で役割分担をするのではなく、教諭皆で取組む姿勢ができてきたと思う。そういう意味で、あえて男性のための男女共同参画というような柱をたてなくても流れ的にはそうなってきたのではないかなと感じたりもしている。</p>
委員	<p>男性がよくするようになったのは、女性が強くなったというのもあるかもしれない。</p>
会長	<p>そういう中で、家庭の中で子どもが役割を果たしていない、その分父親に負担がかかっているという家庭も多い気がする。子どもへの教育も大切だ。</p>
委員	<p>確かに、昔は母親が家事をしていたら自然に子どもが手伝いをしていた。最近はそれがなく、女性もはっきり発言する時代になったからか、男性がかなり家事をこなすようになった。一方、子どもは塾等が忙しく、家庭の手伝いをする時間が取れないといった状況だ。家族で何かを一緒にすることは大切であり、男女共同参画において、男性・女性、父親・母親という観点だけでなく、子どもという視点も必要ではないかと感じた。また、先程出た防災の話だが、私もぜひ盛り込んでほしいと思う。防災分野のリーダーは男性が多いが、被災者の人数的には高齢者や女性も多い。というところからも、女性が防災のリーダーとなっていけるようなシステムづくりも必要なのではないだろうか。また、さぬき市は高齢者の単身世帯も多い。自治会ごとに、災害の際こういった高齢者を誰が助けに行くというような計画を作ってはいるようだが、助けに行く人の家にも高齢者がいる場合、実際助けに行けるのだろうか。市民の不安な声を聞く。きめ細やかな女性の視点からの防災についてぜひ盛り込んでほしい。</p>
委員	<p>防災については、さぬき市は早急に考えねばならないと思う。災害は確実に迫っている。例えば、海沿いの子ども達を、障がいを持った子ども達をどう避難させるのか。この前の新聞では山手でも液状化のエリアがあると報道された。子どものいる人からは、地震のときにはここが安全、水害のときにはここが安全といったような情報が欲しいという声もある。</p>
委員	<p>災害に対しては、積極的に取組をしている団体があるが、いずれも単体で活動している。大災害が起こったとき、果たして単体での活動がどこまでできるだろうか。例えば、昼、大災害が発生したら、幼稚園の先生は何十人もの子どもを抱えてパニックに陥るのではないか。そんなとき、中学生でも幼稚園に赴き園児を抱っこしてあげるといったボランティアができる。大災害のとき、個では到底対応できない。消防、婦人会、青年団、行政、学校等全体で取組まねばならない問題だ。防災に関するプランへの盛り込みは私も賛成である。やはり、男性では気づけないこともあると思う。</p>

会長	<p>男女共同参画の視点を入れると、横断的になる。組織に横糸をはるイメージだ。ぜひ防災について入れてほしい。また、先程ひとり親について盛り込むという提案があったが、これについて、ひとり親だと範囲がせばまることから、貧困の困難に悩む男女への支援という視点で盛り込んでほしいと思う。そうすれば、外国人も若者も子どもも対象になってくる。今、貧困の問題は、あまり出はこないが、大きな問題になっている。貧困だけでなく、政治的な困難に直面している場合もあるが、このことに対する支援はぜひ盛り込んでほしい。</p>
委員	<p>防災は当然入れるべきだと思う。また、香川県の特徴として、交通事故の多発があげられると思う。交通事故は人災である。人災は気を付ければ防げる。このことについては積極的に取組んでいかねばならないと思う。</p>
会長	<p>人の命を守るという部分に男女共同参画の視点を取り入れていくという、防災だけでなく、より広い安全対策という点からの意見だった。</p> <p>ここで皆さんにお諮りする。先程事務局から提案のあったプランを大きく見直していくという方向性については、皆さん賛成ということでご異議ないか。</p> <p><異議なし></p>
会長	<p>では、その方向で進める。その他、もし意見があれば、6月中を目途にFAX等で事務局あて送ってほしい。</p> <p>続いて、プラン関係、中学生のワークショップについて、事務局に説明をお願いします。</p>
事務局	<p>●資料7を使って説明</p>
会長	<p>ワークショップのテーマとして、こんなことについて話し合ってみてはという意見はあるか。私の意見としては、勉強、部活、家庭の両立についてぜひ聞いてみてほしい。自分のこととして考えられるテーマを聞いて、最後に夢が少し広がる内容になればいいと思う。</p>
委員	<p>事前にこの本を読んで各学校でまとめてきてくださいというのか、当日だけの集まりを考えているのか。</p>
事務局	<p>基本的には、当日集まってもらってワークショップをする形を考えているが、簡単なアンケート等、事前送付が必要なものがある場合は、そのように対応するつもりでいる。</p>
委員	<p>補足として、今回のワークショップの参加者として考えているのは、昨年度に中学生アンケートの対象となった生徒を中心に考えている。各中学校の先生も応援してくれている。まずは、自分たちが答えたアンケートの結果がどうなったのか、子どもたちに関心を持ってもらえたらと思う。</p>
会長	<p>ワークショップの内容についてわかるものを事前に送付してあげてはどうか。</p>
事務局	<p>了解した。</p>

会長	では、議題4「今後の会議スケジュールについて」、事務局に説明をお願いします。
事務局	議題1でご説明したとおり、現段階では9月頃を予定している。今回の協議内容を反映した形で1回目の素案を御提示させていただきたいと考えている。その素案を基に、次回はより具体的な内容の協議を進めていきたいと考えている。
会長	詳しい日程については追って連絡する。その他について何かあるか。
事務局	●男女共同参画推進市民サポーター制度の創設についての説明
会長	では、以上で第1回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会する。
<p>< 閉 会 > (15 : 50)</p>	